

タイトル募集中

第10号 令和2年6月4日(木)

「学校」「保護者」「子ども」が一つになろう PART2 みなさんのご意見、一つ一つが宝物です。

先日に引き続き、多くのご応募ありがとうございました。厳しい状況の中だからこそ、本当に大切なものは何か。保護者の皆様の思いがとてもよく伝わりました。

保護者の方の思いを大切に、今まで以上に感染予防に努めながら、職員一同、一致団結して乗り越えられるように頑張ります。以下に保護者の方の願いを掲載します。

- 笑顔で楽しんで学校生活を送ってほしいです。
- みんなにたくさんの笑顔があってほしいから選びました。
- 授業時間が少なくなってしまうと、自分から家庭学習に取り組むなどのステップアップを期待しています。
- 「平和」という言葉が響きました。

保護者の皆様、多くの声を聞かせてくださり、ありがとうございました。各学級担任は、日々元の生活へと戻りつつある子ども達の表情に安堵しつつ、次の段階を見通しながら学習の計画を立てています。

お気付きになったことがあれば、どうぞ遠慮なくお知らせください、

新しい環境で、教科担任制度の学習を進めています。



三密を防ぎながら、通常の学習ができるように心がけています。理科の学習は、実験で行う班の数を増やしました。外国語は、ランチルームで行い、声を出せるようにしました。音楽の学習は、歌うときのイメージを大切にしています。5年生の理科や算数科では、一人一つ教員を提供して学習しています。

どの教科も、新しい環境で子ども達が楽しく学習できるように工夫しています。



6年生は、最高学年としての自覚をたかめています。



感染予防には、万全の対策を。密にならないように、学年での集まりは外で行いました。最初は村田先生のお話。これからの6年生について、方向性を話しました。続いて平崎先生が、仲間で協力することについて、瀧口先生が感謝の気持ちを表すことについて話をしました。

「通常とは違う状況の今だからこそできることを考えて実行しよう。」

どのような状況であっても、前向きな子ども達であってほしい。担任の先生方の強い愛情を感じる集まり、そして子ども達の成長を感じるうれしい瞬間でした。



感謝の気持ちを大切にしましょう。

その時、担任の先生は何をしている？教科担任制のよさを発見！



6年1組では、平崎先生が、5年3組では河堂先生が学級事務をしながら、担任の学級を見守っていました。

教科担任制のよさは、担任が空き時間を利用して、学級の様子を間接的に把握することができることです。高学年の職員は、一丸となって子ども達を見守り育てていきたいと考えています。短い時間ですが、充実した日々を過ごしています。



おっ、子ども達しっかり話を聞いているぞ！

保護者の皆様、高学年通信では、より多くのことを発信していきます。

思春期を迎え、いつの頃からか反抗的な言葉を言うようになったお子様もいらっしゃるのではないのでしょうか？ これからも、高学年の子ども達が学校で頑張っている姿を、より多くお伝えできるように努めてまいります。もし、お子様の様子で知りたいことがありましたら、お知らせください。